



日中 読字英原田 鏡

No. 808

2016/ 9/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0055 東京都千代田区
西神田1-1-1 807201 階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:0861-272-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0861-446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日本と中国・世界平和友好のために！ 9・18 柳条湖事件 85 周年街頭宣伝

「不再戦・平和友好期間」最後の取り組み

日中友好協会岡山支部 小林軍治

日本中国友好協会は、毎年、7月7日の盧溝橋事件から9月18日の柳条湖事件までを「不再戦・平和友好期間」と定め、全国各地で街頭宣伝

や記念集会・学習会を開いています。

9月18日、天満屋アリスの広場前で柳条湖事件(満州事変)85周年の横断幕と日本

9条を生かす道」との立場で、この事件の宣伝をしてきました。

今回はその上に、昨年9月19日に、安倍内閣が憲法違反である「安全保障関連法案(戦争法)」を参議院で強行採決したことを忘れない、今後も廃止を目指して頑張る決意を示すためでもありました。

ビラ200枚をくばる

ビラの表には「柳条湖事件の内容」日本人も忘れてはならない日(この日は、アジア・太平洋戦争とつづく「15年戦争」の発端となった)日本と中国、世界平和友好のために」と、裏面には、「人間が人間であることを許さない戦争」来兵と自衛隊員の自殺」などと書かれたビラを200枚くばりました。



ビラを配る今岡さん

「戦争法」廃止の決意を込めて

私たちは、これまで「日中不再戦は憲法

映画鑑賞

プライバシーの保護と表現の自由について考えさせられる映画を2本観ました。

1本目は「シチズンフォー・スノーデンの暴露」アメリカ政府のスパイ行為を告発したエドワード・スノーデンのドキュメンタリーです。政府の諜報機関の職員でありながら告発をするという危険な行為を、本人の同意のもと、映像が撮られています。彼からドイツのメルケル首相やイギリスのキャメロン首相などの携帯電話も盗聴されていたことが暴露されたことはご存知でしょう。スノーデンはすべての人々のプライバシーが、いつでも政府に盗み取られることになると告発しています。

2本目は「帰ってきたヒトラー」自殺したはずのヒトラーが現代に突然現れるという話です。マスメディアがおもしろがって取り上げる過程で、いつのまにか次第に、彼に同調する人々が増えていくという、まさに現代のヘイトクライムを象徴するような内容です。ラスト近くにユダヤ人の老婦人が登場し、ヒトラーを糾弾します。戦争を知っている人が確実に減少している現実をつきつけられます。

私たちは何を見て何を感じるか、一人一人が自分で決めなくてははいけません。

最後にカレンダー「写真で見る中国の旅」の9月ポタラ宮(チベット自治区)の写真です。日中友好新聞9月5日号の撮影エピソードの写真には中央に恰幅のいい男性が写りこんでいます。しかしカレンダーには彼はいません。肖像権の問題が発生する可能性があるからでしょう。色々難しい時代になってきていますね。(真田)



2017年カレンダー

「中国悠久の旅」の販売、まもなく開始

2017年の日中カレンダー販売が、まもなく始まります。このカレンダーは、中国の歴史・文化の遺産、経済発展する都市の夜景、少数民族の服装などでつくられています。

2003年の岡山支部は、次の3つの目標を掲げて、販売活動を始めました。

- 一、中国 残留孤児」訴訟支援の一環として取り組む。
- 二、日中の財政に寄与する。
- 三、中国に対する正しい理解を広げる。

2006年には、県下で700部を販売するなど、中国への関心を高め、「孤児」訴訟の世

論づくりにも大きく貢献しました。

しかし、近年は、歴史認識「領有権」問題をめぐり、日中双方のマスコミの影響もあり、日中関係は悪化し、販売活動は厳しい状況にあります。

今年、350部(岡山250、倉敷100)の目標を立てました。

9月下旬には現物が到着します。下記の連絡先にお申し込みください。

(同封の申込書を活用してください)

2017年カレンダー
中国 悠久の旅

12月/延吉市の夜景
11月/伝統の地獄
10月/石林・望峰亭
9月/龍門石窟・奉先寺洞
8月/カウス北西村
7月/チベット高原
6月/揚子江

●B3判(縦515mm×横364mm) ●13枚綴り ●定価1,200円(税込・送料別)

企画・制作 日本中国友好協会 〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル5F
☎03-5839-2140 03-5839-2141 E-mail: nicchu@jcf-net.gr.jp

「中原古都を訪ねる旅」訪問地紹介

その1 開封

開封は北宋(960~1127)の都で、黄河と長江を結ぶ大運河(隋の煬帝が建設)が黄河と交わるところに位置する交通の要衝で、商業の中心都市でもあります。

唐の都、長安が政治都市で、夜になると各坊の門が閉じられ外出禁止であったのに対し、徽宗時代の清明節時の開封を描いたとされる「清明上河図」には夜間でも繁華な市街の様子が生き生きと描かれています。

犬飼 繁



その2 登封

少林寺と嵩山

少林寺は河南省登封県にあります。そこには中国の聖なる山とたたえられた嵩山がそびえています。聖なる山は中国では五つあると考えられ、五岳と呼ばれましたが、そのなかでも嵩山は中央に位置しているため中岳と呼ばれました。嵩山には大室山、少室山という二つの山塊があります。北魏の太和19年(495)、孝文帝は中国に伝教にきたインド僧跋陀三蔵のために、寺を建立しました。少室山の麓の叢林の地」ということから、その寺は少林寺と名づけられました。創建まもなく達磨大師が寺に来て住みまし。禅宗では達磨大師をもって開祖とします。以来、少林寺は禅宗の寺としてよく知られるようになりました。

その3 洛陽

龍門石窟と白馬寺

洛陽は後漢や三国時代の魏の都であり、唐代も首都、長安に次ぐ副都でした。シルクロードの東の端が洛陽で、経済の中心が次第に江南に移るにつれ、大運河に近い洛陽の比重が高まり、洛陽はイラン系のソグド商人などが集う国際貿易の中心地となりました。

龍門の石窟は敦煌莫高窟、雲崗と並ぶ中国三大石窟の一つです。5世紀の北魏の時代から8世紀の唐の時代にかけて開削され、一時唐を簞奪した則天武后の時代にも盛んに造営されました。

白馬寺には、夢に光り輝く金神をみた後漢の明帝が、使者を西域に送り、経文と仏像を得た」という有名な伝説があります。経文を白馬の背にのせて帰ったというので白馬寺と名づけたとのこと。



参加者募集中

旅行期間:2016年11月15日~11月19日

募集人数:20人

中国国内旅行代金:お一人様 14.8万円

一人部屋追加料金:1.8万円

募集締め切り日:10月10日

お早めにお申し込みください。

次回の新聞送付作業は10月3日(月)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小林
小曾 田和
竹内 和
竹内 袈
坪井